

# 開館30周年記念事業

## みんなく ウィークエンド・サロン 研究者と話そう

30周年記念として、1年間にわたっておくりする「研究者と話そう」。

6月も毎週おこないます。研究者との話を気軽にお楽しみください。



■時間：14:30～15:30(予定)  
■参加費：無料(ただし、観覧券が必要)

\* 毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。  
ただし、自然文化園を通行して来館される場合は、自然文化園の入園料が必要です。

実施日・話者・話題・場所

6月3日(日)  
長野 泰彦 (民族文化研究部教授)  
チベットのボン教  
於:南アジア展示

6月9日(土)  
池谷 和信 (民族社会研究部教授)  
ビーズの魅力  
於:アフリカ展示・東南アジア展示・アイヌの文化展示

6月10日(日)  
小長谷 有紀 (研究戦略センター教授)  
映画「蒼き狼」のモンゴル国での評判  
於:中央・北アジア展示

6月17日(日)  
山中 由里子 (民族文化研究部助教)  
イラン人の余暇の楽しみ方  
於:展示場内休憩所

6月23日(土)  
劉 明基 (外国人客員教授)  
韓国の老人問題  
於:展示場内休憩所

\*以後の予定は、ホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

晴天続きの5月に梅雨の水無月を思い浮かべるのは難しい。発行日と発行号がほぼ一致している本誌でさえそうなのに、実際の発行日を先取りしている大方の雑誌では、時節ものに引き付けた編集後記などの執筆はさぞかし大変だろう。これは、流通事情の悪かった時代のなごり、他誌を出し抜くため、再販制度の期限の延長をねらった、などの理由かららしい。あまりに先走るのを制限しようと、日本雑誌協会が、月刊誌は40日先を超えて発行してはならぬと定めていることを、初めて知った。

時節ものと言えば、今年は民博開館30周年にあたり、様々な催しが予定されている。これを機に読者の皆様にも民博に足をお運びいただきたい。と言うのも、2004年の法人化以降、効率化、市場原理導入という大波が、それに馴染みにくいと思われる文化・学術分野にも押し寄せているからである。人文系の研究は、知的好奇心から出発するものであり、促成や速効を求めるのではなく長い目で見守ってもらわないと面白い成果は出てこない。遊び心を持った面白好きの方々の応援なくしては成り立ちにくい民博の諸活動へのご支援を、引き続きお願いしたい。(久保正敏)



次号予告/7月号特集  
化粧

2007年6月号

第31巻第6号通巻第357号  
2007年6月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1  
電話06-6876-2151

発行人 朝倉敏夫

編集委員 池谷和信(編集長) 榎永真佐夫  
久保正敏 庄司博史 山中由里子

協力 財団法人 千里文化財団

制作 株式会社博報堂

製版・印刷 アサヒ精版印刷株式会社

●本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係へ  
●本誌掲載記事の無断転載を禁じます

### 交通案内

■大阪・千里万博記念公園内

- 大阪モノレールで「公園東口駅」・「万博記念公園駅」下車徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約15分(茨木方面から1時間1本程度、日本庭園前駐車場乗り入れのバスがあります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。
- 自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れられます。

